資料　公開版

第12回　維持管理・環境管理専門委員会

2015年12月18日

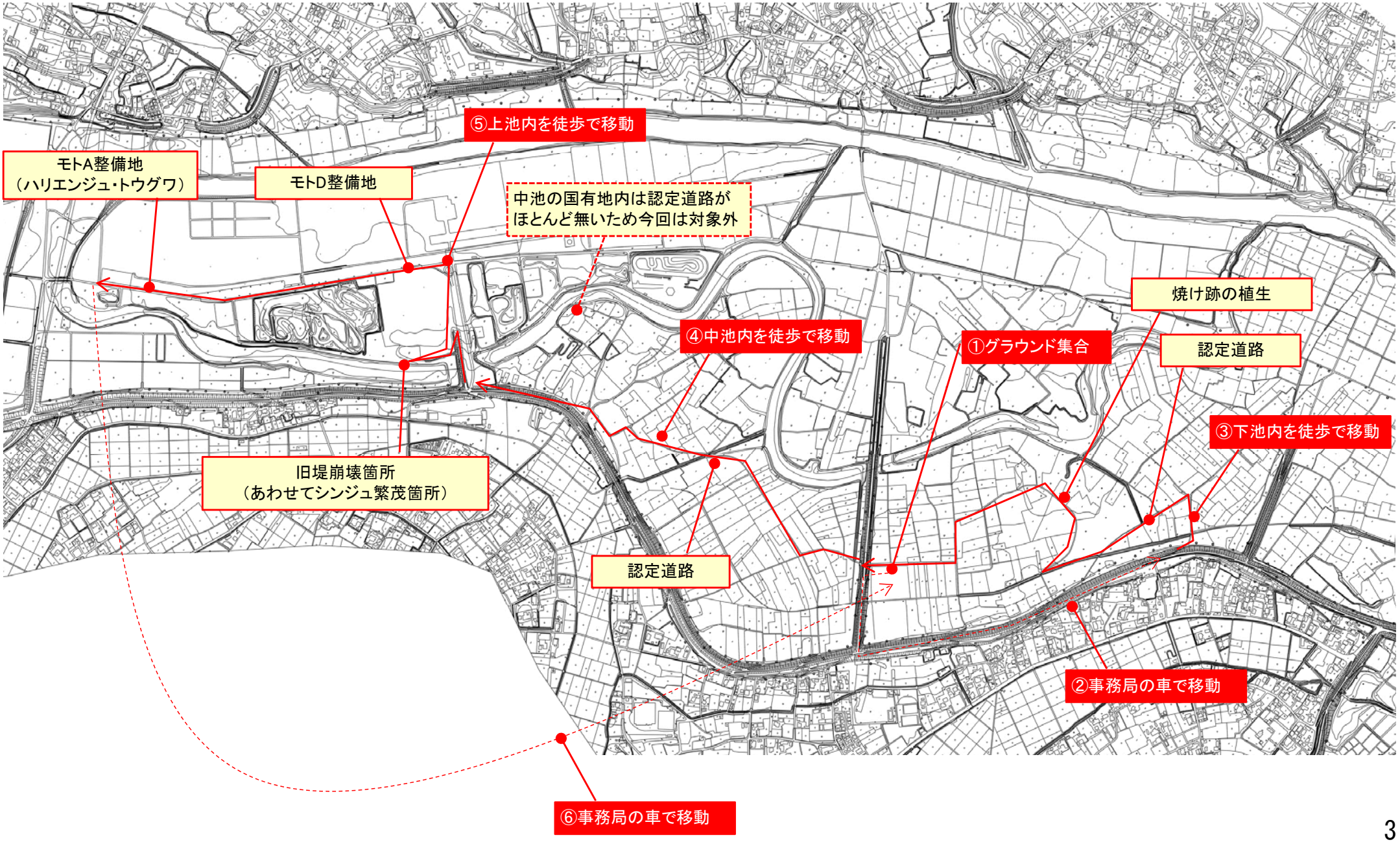
現地確認

【ご注意】
本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。
ご了承下さい。

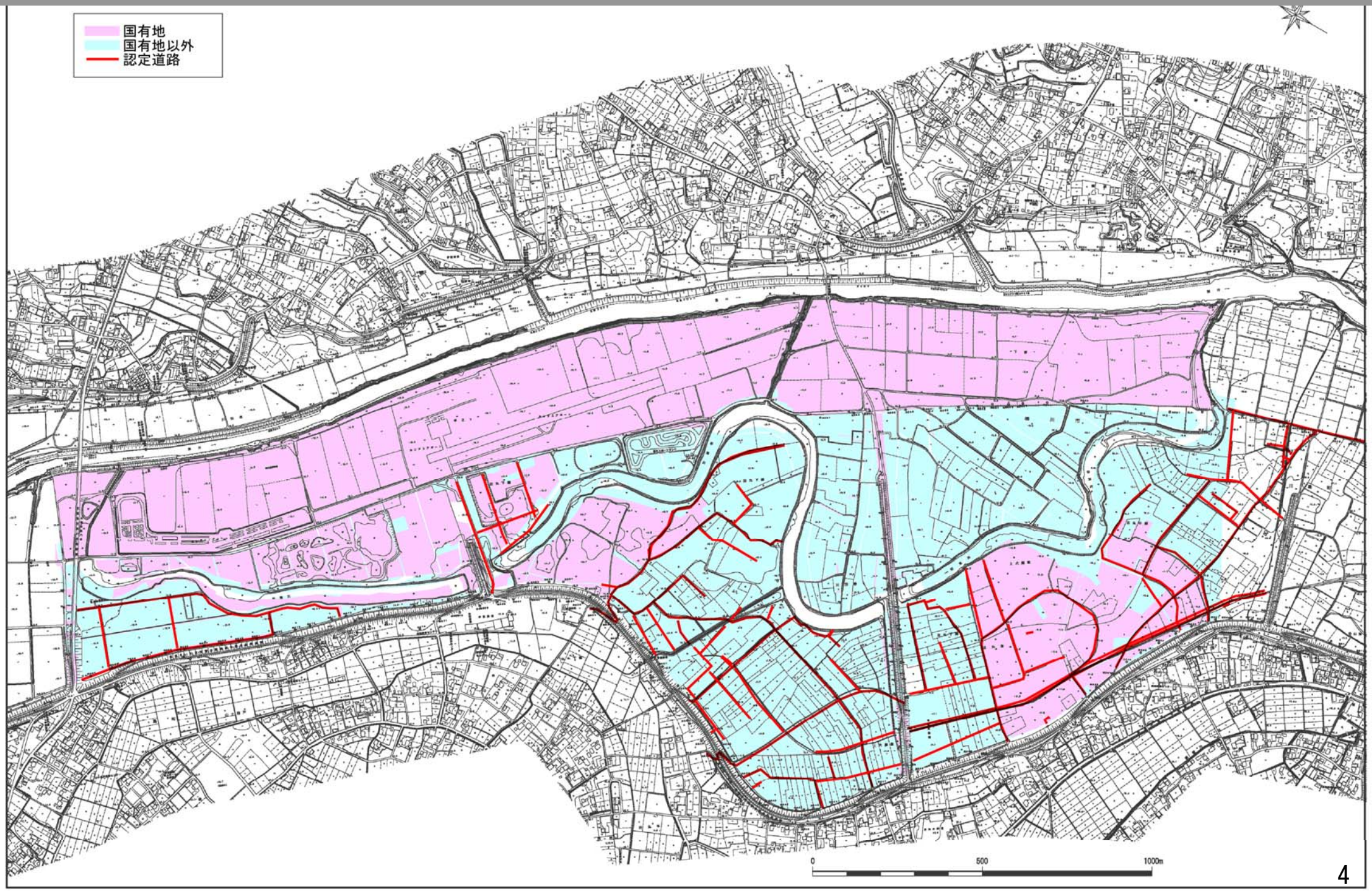
本日の作業

第11回委員会・議事結果 （平成27年11月9日（月））	第41回協議会・議事結果 （平成27年12月9日（月））	本日の作業
①維持管理を行うためには「事務局」と、活動を維持するための恒常的な収入が必要である。組織体制や資金の確保方法は、他事例を参考とはしつつも太郎右衛門地区独自で根本から考える必要がある。	―	（今回は対象外）
②将来の組織体制をどうするかという根本的な課題はすぐに解決できないが、現状でイベント開催時に助成金を活用したり参加費を集めたりしていることと、寄付を受け付けることも考えられるため、協議会の資金管理に関する細則等をつくる必要がある。	将来の本格的な組織体制や資金確保方策は引き続き検討していくが、当面の資金管理が必要なので、現時点で可能な方法を細則として設けてルールを明確にすることとする。	（今回は対象外）
③外部オブザーバーに現地を見てもらい、意見を頂く企画を具体化する。見て欲しい場所については、事務局原案のアンケートを協議会委員に配付して、候補となる場所の情報を集める。範囲は、太郎右衛門地区だけでなくエコロジカルネットワークの関連地域である三ツ又沼や江川を含めたものとしておく。外部オブザーバーは、「一般の人」へのアピールについての率直な意見をもらえる観光関係の方とする。	外部オブザーバーについては、参考となる意見がいただけると思われるので、委員会の提案どおりに現地視察を実施する。また、そのために必要な情報収集を目的とした協議会委員および知己を対象としたアンケートの実施を了承する。オブザーバーの選定や実施日の設定は維持管理・環境管理専門委員会で対応する。	アンケートを参考にしながら、オブザーバーに紹介する場所を抽出する。（P10）
④維持管理の精査表については、セイバンモロコシ等の現時点の情報をもとに見直しておく。	―	（今回は対象外）
⑤上池モトクロス場跡地Dで今年度整備する範囲を来年度前半までに現地を確認し、来年度中に維持管理試行の企画を考えて、実施する。	上池モトクロス場跡地D整備地の来年度からの維持管理試行について了承する。次回の協議会に維持管理・環境管理専門委員会から案を提出する。	現地状況を確認する。
⑥上池モトクロス場跡地Aで外来種の樹木を伐採する企画は、今年度内の実施として、日程を委員長・事務局で設定して協議会に諮り、実施する。	外来樹木伐採の維持管理試行のイベント企画を了承する。細部の設定は維持管理・環境管理専門委員会で対応する。	現地状況を確認する。（P8-9）
⑦認定道路の情報を踏まえた検討を進めるため、委員会で現地を確認する。12月18日（金）の午前に実施する。	―	認定道路・用地の状況を確認する。（P4-7）
―	―	①下池の焼け跡植生を確認する。 ②上池旧流路の下流端の左岸旧堤（モトクロス場跡地D整備地との境界）の崩壊状況を確認する。

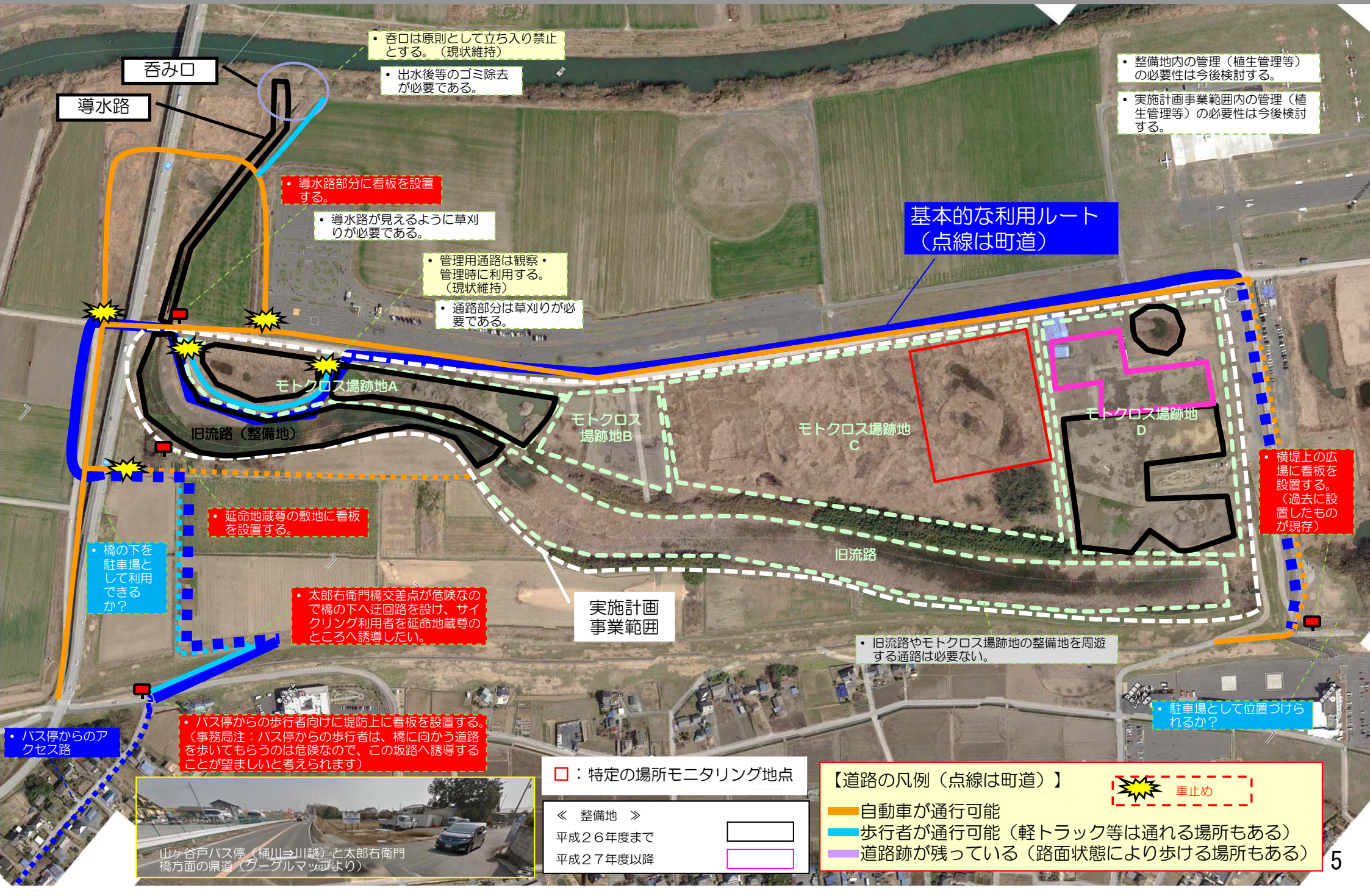
本日の予定


⑤上池内を徒歩で移動
モトA整備地
（ハリエンジュ･トウグワ）
モトD整備地
中池の国有地内は認定道路が
ほとんど無いため今回は対象外
焼け跡の植生
④中池内を徒歩で移動
①グラウンド集合
認定道路
③下池内を徒歩で移動
旧堤崩壊箇所
（あわせてシンジュ繁茂箇所）
認定道路
②事務局の車で移動
⑥事務局の車で移動

用地・認定道路の整理



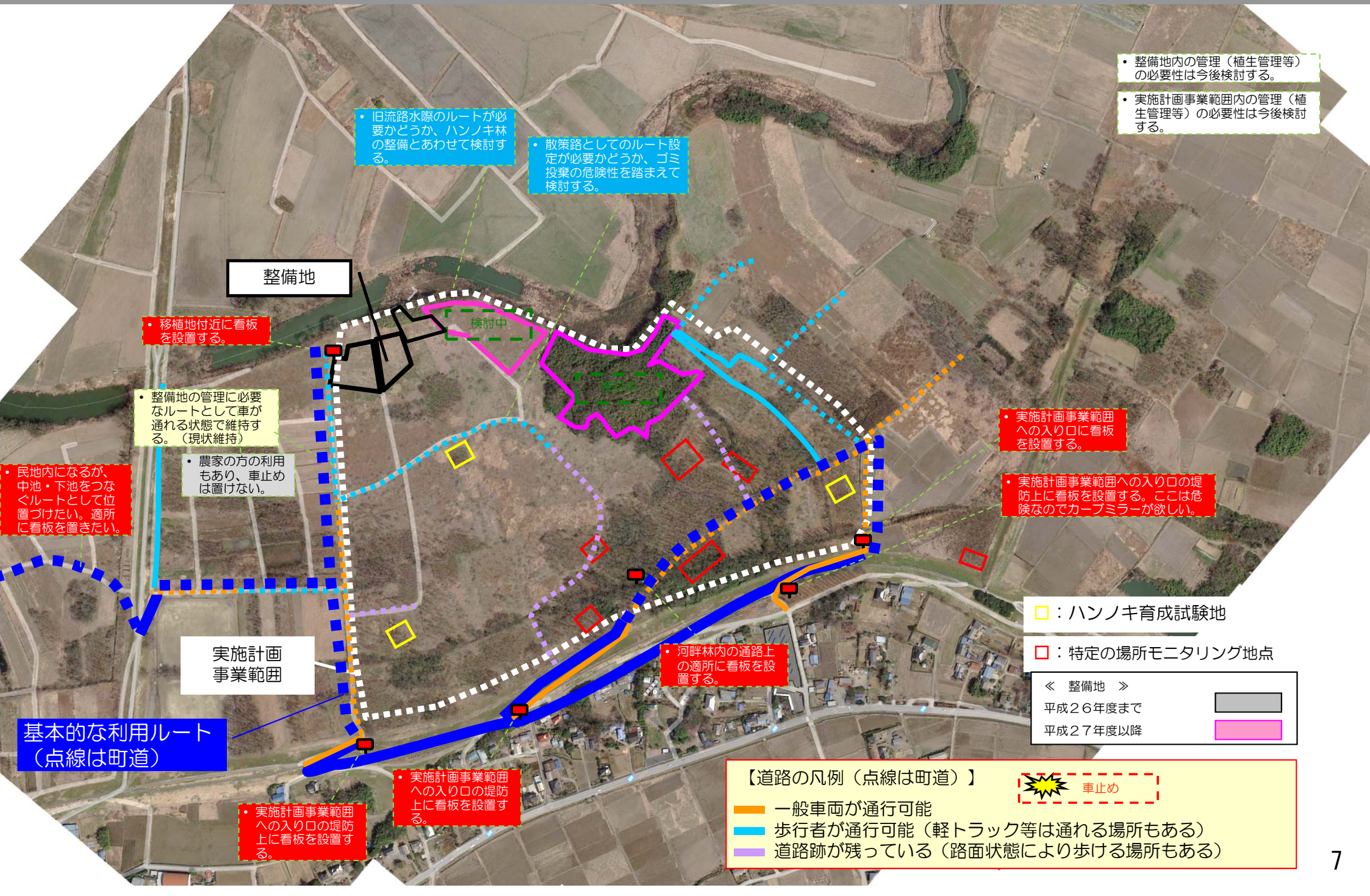
上池の通路・看板整備について



山ヶ谷戸バス停（桶川⇒川越）と太郎右衛門橋方面の県道（グーグルマップより）

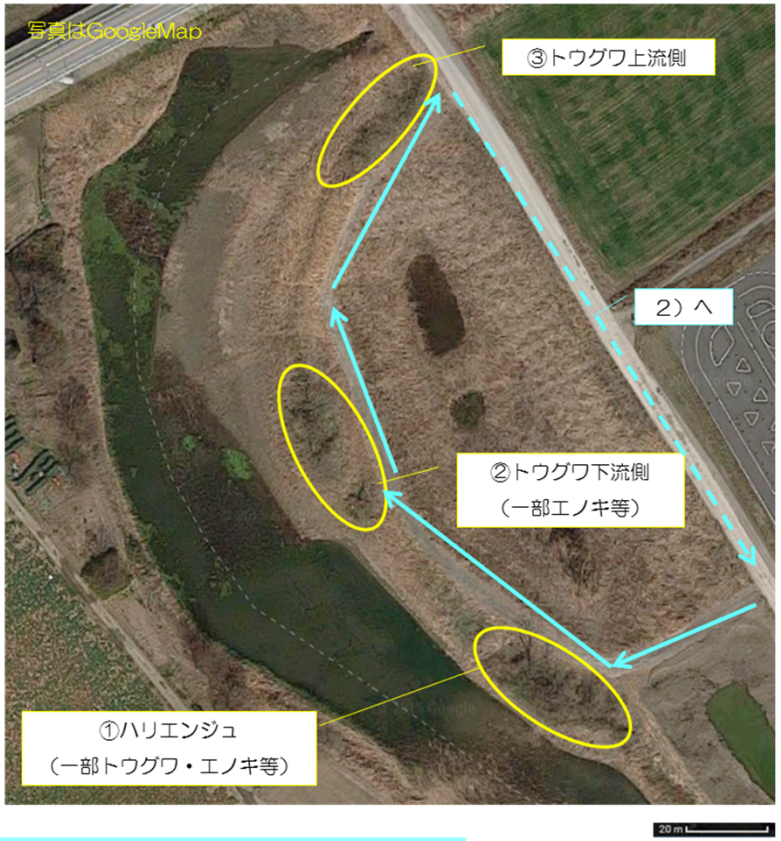
中池の通路・看板整備について

下池の通路・看板整備について



外来樹木伐採の維持管理の試行の企画

1）旧流路整備地、モトクロス場跡地A・H23整備地



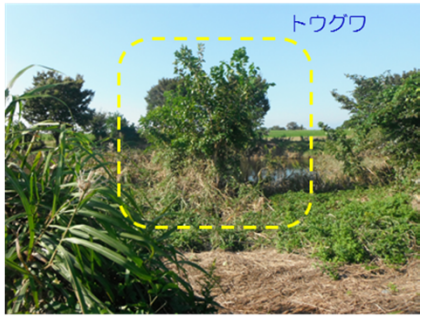
伐採はのこぎり使用
（チェーンソーやナタなど振り回すものは安全性の観点から不可）

①ハリエンジュの場所　＜5分＞
- 整備地を見ていただき、目的と成果の概要を説明します。
- 外来樹木ハリエンジュの大木・幼木を見ていただき、問題を説明します。また、通路の草刈りの必要性も説明します。

・ハリエンジュは一般参加者が伐採するには大きすぎて危険であるため、この場所での伐採は行いません。
・通路については、あらかじめ草刈りしておいた方が快適ですが、冬季であれば現状のままでも歩くことは十分可能であるため、通路の草刈りの必要性を説明するために、そのままとしておきます。

②トウグワ（下流側）の場所　＜15分＞
- 外来樹木トウグワを見ていただき、問題を説明します。
- 試行デモンストレーションとして、1本を選んで維持管理・環境管理専門委員会メンバー数人が伐採します。

・トウグワの木は、経験者数人で伐採可能なサイズですが、一般参加者が伐採するには大きすぎて危険であるため、この場所での伐採はデモンストレーションのみとします。



③トウグワ（上流側）の場所　＜5分＞
- 外来樹木トウグワを見ていただき、問題を説明します。
- 導水路を見ていただき、目的と成果の概要を説明します。

非公開

外来樹木伐採の維持管理の試行の企画

2）モトクロス場跡地A・H25整備地

④ハリエンジュの場所　＜60分＞
- 整備地を見ていただき、目的と成果の概要を説明します。
- 外来樹木ハリエンジュの幼木を見ていただき、問題を説明します。
  各自で伐採を実施していただきます。

- この場所はハリエンジュの幼木が一斉に繁茂し始めています。一般参加者が各自で伐採するのが十分可能な小ささであるため、この場所で伐採を行います。
- 道路際での作業になるため、安全管理が必要です。

ハリエンジュの幼木群

- 伐採した樹木は現地に放置しておきます。（そこからの再繁茂の可能性はほとんどありません。（切り株からは再繁茂の可能性があります））
- トウグワの幼木も混在しているため、これも伐採対象とします。

非公開

「良いところ」のアンケート回答

【回答者（敬称略）】（H27.12.15現在）

非公開

【中池の上流側（ｽﾎﾟｰﾂﾗﾝﾄﾞ）】
四季を通じて静かな場所です
下流側を写す：A

【太郎右衛門橋から見た旧川】
四季折々の表情が（水と緑、枯れた荒涼とした原野等）なぜかほっとします：K

【中池の上流側（ｽﾎﾟｰﾂﾗﾝﾄﾞ）】
四季を通じて静かな場所です
上流側を写す：A

【改修水路】
改修して年月も経過してきたので往事の景観が戻ってきた：K

【上池周辺】
多様な生物が観察できる：K

【荒川から見た富士山】
冬季に見える雄大な富士山：A

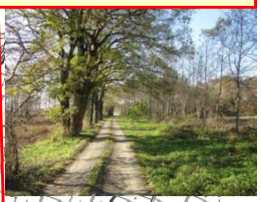
【下池・最下流側（ﾗｼﾞｺﾝ場）】
四季を通じて静かな場所です
釣り人も少ない：A

【ハンノキ】
ハンノキが植樹されており、緑の期間も長く、真夏でも涼しさを感じさせ、貴重な自然風景を作っている。自然の風景が心を豊かにしてくれる。：K

【ハンノキ】
試験箇所のハンノキが育ってきた：K

【多様な樹種の河畔林】
多様な樹種、鳥たちの生息空間：S

【下池側のハンノキ林】
ハンノキの老木と若木のコントラストが綺麗です：A



【エノキの並木】
S

【下池周辺】
多様な生物が観察できる：K

【下池周辺の林】
エノキの巨木：S

【ハンノキの自然再生】
休耕田がハンノキ林に変化していく様子が観察できる：S

【延命地蔵尊】
上池と新緑・広葉期　池に水位がある時期が良い：A

【赤城水路】
昔の水路状況も残っている場所もある：K

【白山横堤】
自然再生地を見学するのに適地：S

【旧川】
元荒川は自然が多く残り動植物も豊富：K

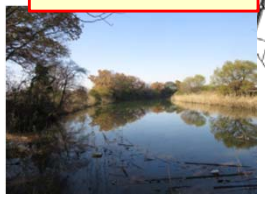
【延命地蔵尊】
上池と太郎右衛門橋・池に水位がある時期が良い：A

【中池・最下流側】
中池に写る新緑・紅葉期が綺麗です：A

【河畔林】
ヤマザクラ、エドヒガンなどの多い河畔林：S

【県道さいたま武蔵丘陵森林公園自転車道線から見た田園風景】
原野と田植えが終わった後の水の張った田んぼのコントラスト（4月末頃）。この季節に土手の上を歩くのはとても気持ちいいです。：K

【延命地蔵尊】
延命地蔵尊と太郎右衛門橋
新緑・紅葉の時期が綺麗です：A



【堤防】
多くの生物を1年中見ることが出来る。スミレ、ノザザミ、ノハラアザミ、チガヤ、センニンソウ等：S

【河畔林の中の水路】
ほぼ1年中水が流れ、種々の生物が見られる：S

【下池全体（旧荒川ビオトープ）】
クヌギやハンノキが多く生育しているため：K

【堤防上・下池入口側】
堤防の土砂備蓄地の雑木林の紅葉が綺麗でした：A

【三ツ又沼ビオトープ・周辺】
様々な植物を観察することができる。タヌキやキツネなど多くの野生動物が生息している。：K

昔の蛇行河川跡そのものが価値があるので全て良い（特に上池全体、下池全体）：O